

趣 意 書

「第42回日本臨床薬理学会学術総会」開催に関する御寄付のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、来る令和3年12月9日（木）～12月11日（土）の3日間、仙台国際センター（宮城県仙台市）において「第42回日本臨床薬理学会学術総会」の開催をお世話させて頂くことになりました。

日本臨床薬理学会は有効でかつ安全な薬物治療の恩恵を受けられるように、学術的貢献および社会的貢献に資する目的で、1980年に設立されました。臨床薬理学は、「合理的薬物治療」を志向する学問で、薬物治療の有効性と安全性を最大限に高め、最良の治療を提供することを目指しています。

合理的薬物治療を実践するためには、創薬と育薬のための臨床試験に関する科学、個々の患者様の病態に合わせて薬力学的側面および薬物動態学的側面からの合理的薬物投与設計の構築、患者さんと医療者との信頼関係の形成が重要となります。このために日本臨床薬理学会は臨床研究や治験の体制整備に関して、全国的な普及・啓蒙活動を活発に行ってきました。

今回の日本臨床薬理学会学術総会は、仙台で初めての開催であり、テーマを最近の話題である「Open Innovation への挑戦」としました。このような視点から、特別講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、海外研修報告、合同セミナー、ランチョンセミナー、一般発表、他学会共催セミナー、臨床薬理学講習会、男女共同参画セミナーなどのプログラムを予定しております。

学術大会運営計画に関しましては、もとより地道な学会運営を行うことを肝に銘じてはおりますが、コロナ禍の中で参加費収入のみで運営を行うには財政的に非常に困難な状況にあります。つきましては、誠に恐縮ではございますが、第42回日本臨床薬理学会学術総会の企画をご理解頂き、ご支援賜りたく、ここに謹んでお願い申し上げます。本会趣意書をご高覧の上、ご検討頂けますようお願い申し上げます。

未筆になりましたが、今後の益々のご発展を衷心よりお祈り申し上げます。

敬白

令和 2年 10月 28日

第42回日本臨床薬理学会学術総会

会 長 谷内 一彦（東北大学大学院医学系研究科）

事務局長 吉川 雄朗（東北大学大学院医学系研究科）

公益財団法人 良陵医学振興会へのご寄付のお願い
(募金趣意書)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本財団は宮城県における医学教育・医学研究及び宮城県の医療の向上と発展を促進し、医療従事者の人材養成と県民の健康増進及び医学知識の普及に寄与することを目的として、昭和55年に設立され、今日まで教育研究への助成・支援等の諸事業を推進して参りました。

今般、「第42回日本臨床薬理学会学術総会」より研究助成金の交付申請がありましたので、教育・研究成果等と、本財団の事業目的との関連について調査・検討し、上記学会を助成の対象といたしました。

つきましては、当方の活動趣旨をご理解いただき、ご支援・ご協力賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

なお、本財団は平成24年4月1日付で「公益財団法人」となり、本財団に対する寄付金につきましては、税制上の優遇措置が適用され、所得税や法人税における控除が受けられますことを申し添えます。

末筆ながら、皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

令和3年1月吉日

〒980-8575

仙台市青葉区星陵町2-1

東北大学医学部内

公益財団法人 ごんりょう 良陵医学振興会

理事長 平 則 夫

